

「水の恵みカード」を配布します

群馬用水は、群馬県の県央地域7市町村にまたがる利根川左岸の赤城南麓と右岸の榛名東麓の約6,300haの農地を潤す水路です。

昭和44年6月21日の幹線水路の全面通水以来、50年にわたり、県央地域の農地を潤し、農作物供給のための下支えをしてまいりました。

この度、独立行政法人水資源機構群馬用水管理所では、群馬用水地域の農産物とその農産物の栽培に必要な農業用水を農地まで届けている農業利水施設の役割を広く一般の皆様にご理解いただくため、「水の恵みカード」を作成しました。

11月9日（月）から「水の恵みカード」初版を別添の場所にて、1人1枚無料にて配布を開始します。

水の恵みカード（見本）

群馬県 **なす** ナス科 ナス属

群馬用水地域のなす

群馬県前橋市、高崎市他



なす

●ポイント解説●
群馬県では平坦地から中山間地にいる広い地域でなすの産地が形成されており、県の重点8産物の一つにも指定され、平成28～30年には、夏秋なすの出荷量が日本一となりました。
前橋市や高崎市を含む赤城南麓や榛名東麓の地域でも、群馬用水の水を利用した、なすの栽培が盛んに行われており、県内でも主要な産地となっています。
県では、野菜振興の重点プロジェクトの一品目としてなすを位置付け、栽培セミナーの実施や補助事業の活用など、産地振興となる各種事業を推進しています。

詳しい情報は [水資源機構 水の恵み](#)
●群馬県農政部長 藤原 謙三 [群馬県の野菜生産について](#)

Ver.1.0(2020.04)

水の恵み施設

せせしんぶんすいじょう 赤榛分水工



群馬用水 赤榛分水工

赤榛分水工基本データ **IC**
○形式・規模：鉄筋コンクリート造パーシャルフリューム
鋼製テンターゲート2門
○完成：1966年（昭和41年）

QRコード

きっかけ
本地域には、「眼下を流れる利根の清流を赤城南麓、榛名東麓の台地へ」とい言葉、水源を利根川源流の矢木沢ダムとし、水資源機構が群馬用水事業（昭和38～45年度）で幹線延長62kmの水路が造られました。これにより、なすなどの園芸作物が露地のみならず、ハウス栽培でも可能となり、県内の一大産地となっています。

一コマモ
「赤榛分水工」の「赤」は赤城幹線を、「榛」は榛名幹線を示し、利根川・綾戸取水口から取水した用水は、ここで、赤城、榛名の山麓に分かれ、県央の大地を潤していきます。
当初、農業用水だけが目的だった群馬用水ですが、現在では、水源に奈良侯ダムを加え、群馬県民約100万人が使う水道用水にも使われています。

(53)

水の恵みカード配布場所

○ 独立行政法人水資源機構 群馬用水管理所

住所：群馬県前橋市古市町386番地

日時：11月9日（月）から

9：00～17：00（土、日、祝祭日、12/29～1/3は除く）

○ 群馬用水土地改良区

住所：群馬県前橋市古市町406番地

日時：11月9日（月）から

9：00～17：00（土、日、祝祭日、12/29～1/3は除く）

○ 独立行政法人水資源機構 矢木沢ダム管理所

住所：群馬県利根郡みなかみ町藤原字矢木沢6381-4

日時：11月9日（月）から

8：30～17：00（土、日、祝祭日も配布します）

（11月下旬から5月上旬（積雪状況により変わります）は、冬期閉鎖期間中につき、配布できません。）

※上記の場所にて、来訪された方のみに1人1枚手渡しいたします。

群馬用水の「水の恵みカード」は動画を楽しむことができます！

群馬用水の水の恵みカードにはARがついています。

iOSをご利用の方はApp Store、Androidをご利用の方はGoogle PlayよりCOCOAR2と検索し、スマートフォンにアプリをダウンロードしていただくと動画をご覧いただけます。